

次の(1)及び(2)のいずれも満たす場合に、「高質な都市緑化」と認定し、拡充した補助率及び補助限度額を適用する。

- (1) 事業実施箇所が市街化区域又は人口集中地区に存する
- (2) 緑化計画等について下記の基準に基づき評価したときに、合計得点が右記以上
- 【一般緑化】：15点
- ／
- 【ひろばの芝生化】：10点
- ／
- 【建築物の屋上緑化】（樹木による緑化に限る）：10点

評価基準（案）

カテゴリー	評価項目	評価基準	配点	関連性の高い効果								備考（運用等）
				暑さ対策	二酸化炭素低減	まちなみ景観向上	防災・減災	生物多様性確保	Well-being向上	にぎわい創出・地域活性化	都心の魅力向上	
1 緑化計画	① 緑地の広さ	緑化面積が下記の範囲 一般緑化 600㎡以上 注) プランターによる面積は含まない ひろばの芝生化 1,800㎡以上 建築物の屋上緑化 200㎡以上	5	○	○		○					
		緑化面積が下記の範囲 一般緑化 400㎡以上 600㎡未満 注) プランターによる面積は含まない ひろばの芝生化 1,200㎡以上1,800㎡未満 建築物の屋上緑化 100㎡以上 200㎡未満	3									
	② 高木による緑化	高木（外来種は除く）を計10本以上植樹する 注) プランターに植樹する高木は含まない	5	○	◎	○	○					
		高木（外来種は除く）を計5本以上10本未満植樹する 注) プランターに植樹する高木は含まない	3									
	③ 緑地の階層構造	緑地の中に高木層があり、その下部又は近辺に中低木層及び草本層（多年草、芝生等）の2層がある 注) プランター内の階層構造は含まない	5			○		◎				「その下部又は近辺に」… ・高木の樹幹から概ね2m以内の範囲とし、この範囲に中低木層・草本層が一部でも含まれていれば可とする。
		緑地の中に高木層があり、その下部又は近辺に中低木層又は草本層（多年草、芝生等）のいずれか1層がある 注) プランター内の階層構造は含まない	3									
	④ 沿道緑化	主要な接道部（※1）の沿道緑化率（※2）が75%以上 ※1 主要な接道部… 車両等の出入口の部分を除いた延長が10m以上の道路境界 ※2 沿道緑化率… 高木又は中低木（プランター植樹は除く）による接道部緑化長さ／接道部長さ	5			◎	○				○	・角地等で「主要な接道部」が複数ある場合は、いずれか一つが基準を満たせば可。 ・葉と葉が触れ合う程度の間隔（高木は成長時の姿を想定）で植樹される樹木は、連続した緑地として取り扱う。
		主要な接道部の沿道緑化率が50%以上75%未満	3									
⑤ 緑陰による暑さ対策	夏の暑さ対策として、クールスポットになり得る緑陰施設（ベンチを併設した高木やパーゴラ等）を設ける	5	◎									
2 緑化場所	① 都市中心部の緑化	緑化する場所の用途地域が商業地域又は近隣商業地域である	5								◎	
	② 空き地の利活用	100㎡以上の空き地（※）を整備して緑化する ※空き地… 宅地化された土地又それに近接する土地で、現に利用されていない土地	5							◎		
	③ 既存建築物の緑化	既存建築物の屋上（非緑化部）を緑化する	5	◎								
	④ 地表面の状態	緑化する場所の地表面（従前）の75%以上がアスファルト、コンクリート等である	5	◎			◎					
緑化する場所の地表面（従前）の50%以上75%未満がアスファルト、コンクリート等である		3										
3 緑化空間の公開性等	① 公開性	緑化空間に不特定多数の県民が自由に出入り可能である	3						○	○	○	「不特定多数の県民が自由に出入り可能」… ・管理者等の承諾を受けなくても出入りできるものを対象とする。 ・管理上の理由等により夜間や休日に施錠することは可。
	② 安らげる空間整備	3-①に適合し、かつ、ベンチ等の休憩施設を整備する	2						◎	○	○	
	③ 運動できる空間整備	3-①に適合し、かつ、散歩ができる遊歩道や運動利用ができる広場などを整備する。	2						◎	○	○	